

○ 本校の概要

- ◇児童数761名、23学級で、特別支援教室無設置校である。学区内には7町会あり、学校に対して非常に協力的で地域力が高い。
◇PTA活動、お父さんの会、同窓会活動が非常に盛んで児童の健全育成に大きく関わっている。一昨年度開校80周年事業を成功させ、「チーム馬三」としての連携がさらにすすんでいる。
◇学習場面では、一人一人が自らの考えをもって言語活動を通して交流する過程を重視し、主体的に学びに向かう力の育成を図っている。
◇縦割り別を活用した児童・保護者・教員・職員等の異学年交流を通して、集団や個人における人間関係形成力の向上を図っている。
◇運動大好き馬三の子を指して、「馬三元氣アップタイム」等を計画的に行い、体力向上に努めている。
◇今年度、コミュニティ・スクールのモデル事業実施校として、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりを進めていく。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組, 学校関係者記入欄. Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学力の向上', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成する', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確に、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。